

ITを用いた地域コミュニティの活性化



金沢工業大学 情報フロンティア学部 メディア情報学科
山岸 芳夫 准教授 博士 (理学)

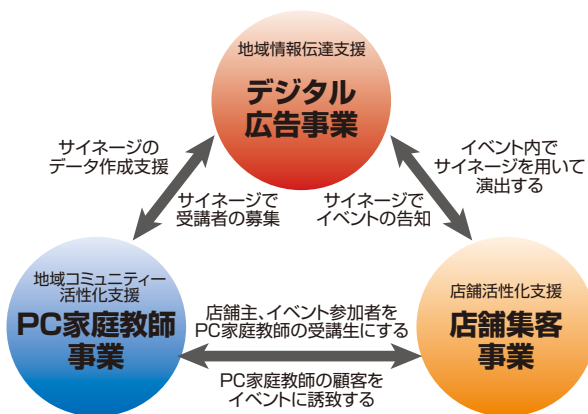
研究分野

コンピュータと人間社会、教育工学、プロジェクト型教育

研究テーマの狙いとその成果

現在少子化、過疎化が進んでいる地域が増加しており、その活性化が必要とされている。しかしITは原理的に地域への依存性が低く、ネットワークが繋がっていれば都市部でも地方でも基本的に同じことができる。このITの特性を地域の活性化に応用できないだろうか、と考えた我々は、2006年より金沢工業大学の教育プロジェクト「CirKit」を開始し、ポータルサイトやSNSの運用を通じて地域の店舗や住民同士のコミュニケーションの促進に取り組んできた。2013年よりCirKitは、さらなるサービスの向上を目指し、主に野々市市内で店舗集客、PC家庭教師、デジタル広告の三事業を連携させながら展開する、金沢工業大学発の学生ベンチャー企業「株式会社CirKit」として起業した(図1)。

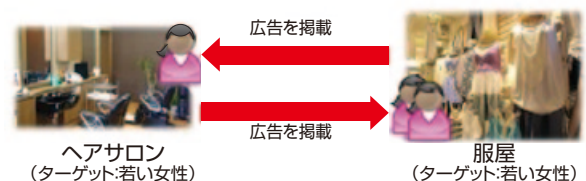
現在我々は、デジタル広告事業の一環として、地域住民に向けて有用な情報を発信できるメディアとして、デジタルサイネージを応用することを考えている。例えばターゲット層が重なるが業態が異なる店舗同士にそれぞれの店舗の広告を表示することができれば、顧客の相互誘導が可能になる(図2)。今後は実際に商店街でこのシステムの実証実験を行う予定である。



(図1)

■ 地域店舗での活用法

ユーザー層が重なる店舗へお互いに広告を掲載することで、**ユーザーの行き来をできる環境を構築する**



(図2)

応用分野

- ・ITを活用した地域イベント
- ・ポータル、SNSと地域商店との連携

連携を希望する企業の業種・技術

地域の活性化に関心がある企業、自社のIT製品、サービス、ソリューションなどを地域のために活用したい、という意向がある企業